

ヒヤリハット体験

タイトル	薪のかたさ	
部門	活動内容	
ボーイ隊	15NJに参加隊として参加し 炊事のための薪割り	
発生日	発生時間	発生場所
2010年8月	炊事時間内	サブキャンプ サイト内
ヒヤリハット体験の概要		
<p>15NJで 支給された薪が非常に硬く スカウトが薪割りをする際に 力が入り、ナタが左手、革の手袋の上に落ちた。</p>		
備考欄		

ヒヤリハット体験

タイトル	登山路の見失い	
部門	活動内容	
ボーイ隊	登山ハイキング	
発生日	発生時間	発生場所
		富士宮市 長者ヶ岳登山路
ヒヤリハット体験の概要		
<p>東海自然歩道のコースとなっている長者ヶ岳（1336メートル；富士宮市）に登山ハイキングを行った。通常ルートでは体験済みの為、途中を東海自然歩道以外の登山路を使用した。</p> <p>その登山路の登り口と頂上は確認していたが 途中の下見は行わず</p> <p>地形図（1/25000）のみを頼りとした。登山を始めると 通常使用していないために、草で道がわからなくなり、さらに濃霧が発生。先頭と最後尾が全く見えない状態となった。</p>		
備考欄		

ヒヤリハット体験

タイトル	火傷	
部門	活動内容	
ボーイ隊	野外炊事	
発生日	発生時間	発生場所
ヒヤリハット体験の概要		
<p>コンロで熱せられたコップフェルの柄が高温になっている所を あやうく スカウトが持ちそうになり 火傷をするところであった。</p>		
備考欄		

ヒヤリハット体験

タイトル	危険な登山道で監視していたら、スカウトはより危険な岩場を登る	
部門	活動内容	
ボーイ隊	夏季キャンプでの登山	
発生日	発生時間	発生場所
夏		長野県駒ヶ根市 宝剣岳山頂付近の岩場
ヒヤリハット体験の概要		
<p>ボーイ隊の夏季キャンプで、宝剣岳登山を実施。ロープウェイでしらび平から千畳敷まで行き、宝剣岳をめざして登った。</p> <p>参加者 隊長、団委員（山に詳しい）、BS 8名</p> <p>宝剣岳山頂部は岩場で、登山道が1mほど崩れ、道幅が狭くなっており、鎖を掴んで渡るような場所があったので、指導者は、団委員に危険箇所へ先に行って待っていると伝え先行した。</p> <p>しかし、スカウト達は待っていても来なかったため、引き返し団委員に確認したところ スカウト達は、岩場を登って頂上へ向かったとの返事であった。</p> <p>急いで頂上へ行くと、スカウト達全員が休憩していた。</p>		
備考欄		

ヒヤリハット体験

タイトル	キャンプ地周辺を点検中 マムシ（毒蛇）が飛び出す	
部門	活動内容	
ボーイ隊	夏季キャンプ	
発生日	発生時間	発生場所
夏	夜間就寝前の点検	島田市金谷 松島 菊神農村公園
ヒヤリハット体験の概要		
<p>ボーイ隊が、菊神農村公園内にテントを張り、夏季キャンプを実施していた。指導者と団委員で夜間、就寝前の点検を実施。公園の周回道路（農道）を点検中、突然、茶畑の中から道路上へ ヘビがでてきた。暗くて、ヘビの体色が黒く、公園内に向って行ったので、団委員とヘビの頭を長靴で踏みつぶした。</p> <p>懐中電灯の光で確認したところ、マムシ（毒ヘビ）だった。</p> <p>【追記】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ キャンプ下見時に、マムシがいることは把握していた。 ・ 指導者と団委員は、長靴を履いて巡回点検をしていた。 ・ 指導者は、キャンプ前週にサイトとして利用する場所等、公園内サイトに近い土手部分の草刈りを実施していた。 		

備考欄

ヒヤリハット体験

タイトル	落雷に1時間以上を追いかけられる	
部門	活動内容	
ボーイ隊	夏季キャンプのプログラムで無双連山登山	
発生日	発生時間	発生場所
夏	12時30分～	無双連山登山道の尾根道
ヒヤリハット体験の概要		
<p>ある夏、大井川流域で夏季キャンプを行い、プログラムの一環として無双連山（むそれやま）登山を計画した。</p> <p>参加者 隊長 団委員（山に詳しい人）、BS10名</p> <p>大井川線青部駅から、林道を登り、林道の終点から無双連山への登山道に入り、12時30分頃、尾根道に出たので、昼食のためスカウトたちに「昼食」の指示をだした。</p> <p>隊長は周辺の景色を見ていたところ、雷光が目の前で水平に走ったのを見た。</p> <p>それから、すぐ、登山道を駆け下り、1時間くらいで青部駅近くの八幡様の本殿に逃げ込んだ。</p> <p>その間、3分間隔くらいで、ピカピカ、ドシヤンの落雷と雨に追いかけられた。</p>		

備考欄